

..... 編集後記

◆本号入稿前に、南アフリカ共和国では全人種が参加した選挙が行われ、初の黒人大統領が誕生した。投票所に並んだ人々の嬉しそうな顔が印象的であった。日本との関係も変わっていくことであろう。

◆ところでこの特集の編集は、巡検に例えれば、定員以上の参加者が集まってバスがすしづめ状態になったグループの案内を途中から引き継いだという感じであった。しかも、参加者には予め巡検の趣旨や必要な装備が周知徹底されていなかったらしく、様々ないでたちの人が、大きな荷物を抱えてバスに乗り込んでいた。集合時間に遅れた人もいれば、来るべき人が来ていないということも分かった。立案者のデザインに問題があったのである。バスの増発も考えたが、円滑な運行は難しく、とにかく出発することになった。

◆バスに乗った参加者には、改めて趣旨を話し、着衣を整え(投稿規定(1993年8月号参照)に基づく原稿の書き直し)、余計な持ち物を下ろす(簡略化)ようお願いした。居なくてはならない人(口絵や表紙の担当者)の分は、こちらで補うことにした。

◆原稿査読の結果、全員に修正をお願いすることになった。査読に当たっては、神谷雅晴・武内寿久禰・富樫幸雄・吉井守正の各氏(アルファベット順)にご援助頂いた。厚くお礼申し上げる次第である。また、口絵原稿の作成にご協力頂いたC.de

Ronde・石原舜三の両氏にもお礼申し上げる。

◆ついでながら、原稿の査読はこの号に限ったことではない。編集部としては、他分野の読者にも分かり易くなるようにという観点から、しばしば修正をお願いしている。

◆さて、動き始めたバスの中で次に必要なのは、各人に適当な座席を配分すること(レイアウト)である。もともと定員を超過しているから、心地よい席を約束することはできない。図表類を小さくするとともに、写真の採否を編者に任せてもらうことを予告しておいた。他と重複していたり本文と直接関係のない写真は原則として削除した。レイアウトの都合で削除を免れたものもあれば、持ち帰った試料の検討結果を示す貴重な写真の一部を削らざるを得なかった場合もある。著者と編者にとって、これはしばしば不本意な作業であった。結果的に稿の配列も当初の案とは全く異なるものになっている。

◆とにかく、当初は収容不能と思われた原稿の山を一冊に収めた。それでも規定のページ数(68)を超えている。超過分だけ後の号は薄くせざるを得ない。

しかし無理をしてでも一冊にまとめた結果が、読者にとって便利なものとなり、この号が、南アの鉱物資源について学ぶ際に役立つことがあれば幸いである。

副委員長 佐藤興平 記

地質ニュース編集委員会

委員長：小玉喜三郎

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井登・岡村行信・杉原光彦・内田利弘・
野田徹郎・吉井守正・豊遙秋・佐藤岱生

顧問：林暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋博

事務局：総務部業務課広報係(畠山浩之・清水真寿美)
〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地質ニュース

第479号 1994年7月号
定価 ¥ 770 千 実費

1994年7月1日 発行

編集

発行人

発行所

工業技術院地質調査所
林久雄
株式会社実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8
〒102

Tel. (03)3265-0951 (代表)

振替口座 東京 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

印刷

小宮山印刷工業株式会社

©1994 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。